

## 第2世代AMD EPYC™プロセッサを搭載したDell EMC™ PowerEdge™サーバーでMicrosoft Windows Server® 2019を使用してIT予算を最適化

30年以上にわたってパートナーシップを結び、共通のお客様が数千社に上るDell TechnologiesとMicrosoftは、お客様のデータセンターを最適化するための、ソリューションベースのアプローチを共同で提供します。Dell TechnologiesとMicrosoftは長年にわたってパートナーシップを結んできましたが、このたび初めてAMDと提携して、第2世代AMD EPYCプロセッサを搭載したPowerEdgeサーバーのWindows Server 2019 OEMライセンスに限り、特別価格でご提供させていただきます。このプロモーションでは、Windows Server 2019のライセンスコストを50%割引いたします。

### Windows Server 2019 OEMライセンスを最大50%割引

データ分析、ERP、ハイパフォーマンス コンピューティングなど、コンピューティング負荷の高い現代のワークロードでは、このようなタイプのアプリケーションのコンピューティング ニーズに対応するために、コア数の多いサーバー プラットフォームが必要です。Windows Serverのライセンス コストはコア数によって決まるため、当然ながら、コア数が多いほどライセンス コストが高くなります。そこで、Dell Technologies、Microsoft、AMDが一体となり、お客様が第2世代AMD EPYCプロセッサを搭載したPowerEdgeサーバーを選択した場合に、Windows Server 2019 OEMライセンスのコストを最大50%割引するプロモーションを提供します。

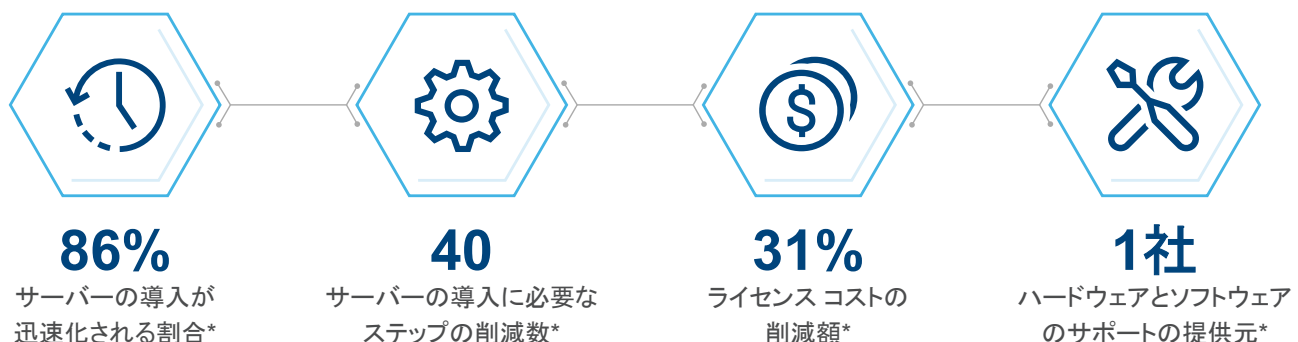
- シングルソケット サーバーの場合、最初の32コアを超えるWindows Server 2019 OEMのライセンス コストが無料になります (PowerEdge R6515およびR7517に適用)。
- デュアルソケット サーバーの場合、64コアを超えるWindows Server 2019 OEMライセンス コストが無料になります (R6525およびR7525に適用)。

このプロモーションは、Windows Server 2019 StandardおよびDatacenterが対象ですが、Dell TechnologiesのOEMチャネルを通じて購入されたライセンスにのみ適用されます。プロモーション期間中に購入されたライセンスは、サーバーまたはオペレーティングシステムのライフサイクルのいずれか長い方が終了するまで継続されます。このプロモーションは、2021年6月30日までの予定ですが、それ以前に終了する可能性もあります。

### OEMライセンスを使用することで時間とコストをさらに節約

新しいサーバーの購入と導入には、時間とコストがかかります。しかし、第2世代AMD EPYCプロセッサを搭載したPowerEdgeサーバーのWindows Server 2019 OEM版ならではの割引に加え、Dell TechnologiesのOEMライセンスご購入には、さらなるメリットがあります。

第三者機関のレポート<sup>1</sup>では、このプロモーションを通してOEMライセンスの割引を受けたWindows Server 2019ソフトウェアがプリインストールされているDell EMC PowerEdgeサーバーでは、時間、労力、コストを節約できることが分かりました。さらに、これらのサーバーはDell ProSupport™ IT管理サービスの対象となっており、導入後にハードウェアとソフトウェアの両方を含めたソリューション全体のサポートを受けられます。



## 複雑なワークロードの基盤

Dell EMCとAMDはマルチクラウド環境の要件に対応するためにパートナー提携し、第2世代のAMD EPYCプロセッサを搭載した最新のPowerEdgeサーバーを設計しました。これにより、卓越したパフォーマンス、高速なメモリーとI/O帯域幅、および複雑なワークロードに対応できるセキュリティ機能を提供します。

モダン データ センターでは、ワークロードの配置をビジネス戦略に基づいて行う必要があります。また、クラウド導入オプションの急増に伴って、93%のお客様が2つ以上のクラウドにワークロードを導入しているという事実も意外なことではありません。ハードウェアへの投資を行っている最中の企業は、その時点での新しいワークロードの67%のために新しい機器を購入していることが分かりました。このような動的なランドスケープでは、適切なワークロードを適切なクラウド環境に配置するためのイノベーションが必要になります。

それを実現するため、AMD EPYCベースのPowerEdgeサーバーは次のような用途に最適です。

- **マルチクラウド環境:** Dell Technologiesは、AMD EPYCプロセッサの機能を自社が提供するクラウド サービスにも実装しています。Dell EMCは、vSAN Ready Nodeビルディング ブロック、Dell EMC VxRail製品ライン、Dell Technologiesクラウド認定付きのVMWare Cloud Foundationを組み込んでいます。
- **新しいワークロード:** Dell TechnologiesのHPCソリューションでは、第2世代AMD EPYCの新しいテクノロジーが採り入れられています。Dell Technologiesは、Dell EMC HPCイノベーション ラボでPowerEdge C6525サーバーを使用して64ノード構成のクラスターを構築しました。このソリューションでは、4,096個の第2世代AMD EPYCコアを提供します。このユニークな施設で、お客様がDell EMCが持つHPC/AIの専門知識を活用しながらアプリケーションのテストと開発を行えるサンドボックスを提供します。
- **高速化されたパフォーマンス:** これらのPowerEdgeサーバーは、第2世代AMD EPYCをフル活用するように設計されており、AI/ML/DLといった、コンピューティング負荷が高く帯域幅が多く必要なアプリケーションを処理することができます。PCIeライザーとストレージ バックプレーンを最適化し、サーバー内のすべてのPCIeレーンを使用できるようにしています。そうすることで、2UサーバーでGPUなどのハイパフォーマンスなPCIeスロットが必要な場合でも、最小のレイテンシーのストレージ アプリケーションを実現するために24個のDirect NVMeが必要な場合でも、究極の柔軟性が得られます。



<sup>1</sup> Prowessホワイトペーパー『Streamline your Server Deployment by Choosing Dell EMC PowerEdge Servers with Preinstalled Microsoft Software』、2020年1月

### PowerEdgeサーバーをもっと詳しく知る



PowerEdge  
サーバーの  
詳細はこちら



Dell Technologiesのシス  
テム管理ソリューションの  
詳細はこちら



リソース ライブラ  
リーを検索する



セールスまたはサ  
ポートについてDell  
Technologiesのエキス  
パートに問い合わせる